

学校評価(自己評価)公表シート

社会福祉法人アタラシイカタチ

幼保連携型認定こども園 やまとこども園 chouchou

1. 本園の教育・保育目標

教育・保育目標

【生き生きとした子どもを目指して】

- ・ 丈夫で体力のある子ども
- ・ 元気よく友達と遊べる子ども
- ・ 自分のことは自分でできる子ども
- ・ 自分の主張をはっきりと言うことができ、みんなで力を合わせることを大切にする子ども
- ・ 自然に目を向けられる子ども
- ・ 感動し、驚き、疑問を持ち、考え、表現できる子ども

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した学校評価の具体的な目標や計画

評価項目を設定し、それらに沿って自己評価を実施し、職員が主体性を持って客観的に自園の教育内容・保育内容をチェックし、重点項目について点検と改善に取り組む。

3. 評価項目の達成と取組み状況

評価項目	取組み状況
こども園の教育・保育理念や方針に沿って教育・保育課程を編成している。	職員間で共有し、子どもの発達や実態、地域の特色を踏まえながら見直しを行い、理念の実現に向けた教育・保育の充実に努めている。
指導計画は、教育・保育要領、教育・保育課程、子どもの実態などをもとに考えて作成されている。	子どもの発達や興味・関心、実態に応じた指導計画を作成し、実践後には、職員間で振り返りを行い、次の保育に活かしている。
子どもの実態を的確につかみ、具体的な手立てを講じる。	保育教諭は、園児一人一人の日々の観察や記録をもとに振り返りをしながら園児の理解を深め、職員間で情報を旧友しながら適切な支援につなげている。
毎月、各クラスの成果と課題を報告し、確認している。	毎週クラス別でミーティングを実施・毎月の月案、週日案で反省評価を行い、職員間で共通理解を図りながら、課題の改善や教育・保育の質の向上につなげている。
子どもの良さを認めて評価しようとしている。	子ども一人ひとりの個性や頑張り、成長に課程を大切にし、自己肯定感や意欲の向上につなげるように努めている。
遊びを通して工夫したり、協力したりする姿が見られる。	遊びの中で自ら課題を見つけ、試行錯誤しながら工夫する姿が見られる。友達との対話を重ね、互いの考えを認め合いながら協力して活動を進めるなど、主体的な探究の姿が育っている。

規則正しい生活習慣の定着に向けての指導を行う。	園生活の自然な流れの中で機会を捉えて指導し、園児自身が必要性に気付き、自分でしようとする気持ちをもてるようにしている。
-------------------------	---

教育・保育の質の向上のために、園内研修を充実させる。	毎月職員会議を実施、園内研修も実施し、事例の研究や取り組みなどの情報交換をしている。
園だよりや各種研修会を通して、こども園の情報を発信していく。	日々の保育の様子をコドモンで配信、園だより等で保育のねらいや内容を伝える。ドキュメンテーションを作成して実際の遊びや園児の学びを写真付きで伝える。保護者や地域との対話を大切にしながら、こども園の教育・保育への理解と信頼の向上に努めている。
保護者のニーズの把握のために、要望や苦情に適切に対応をはかる。	年間2回の個人懇談、年1回の保護者アンケートの実施、保育参観、年3回の学校評議員会を通じて、保護者の考えを聞きながら園の考えも伝え、改善に努めている。 苦情に関しては担当を決めて対処している。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

<p>子ども一人ひとりの主体性や探究心を大切にされた教育・保育の実践に努めることができた。子ども達は遊びや生活の中で友達と協力しながら学びを深め、主体的に活動に取り組む姿がみられた。また、保護者への情報発信や連携も継続して行うことができた。一方で、子どもの学びの課程の可視化や職員間での振り返りの充実にはさらなる改善の余地がある。今後も教育・保育の質の向上に向けて、継続的な評価改善を行っていく。</p>
--

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取組方法
安全教育と安全管理	地震などの自然災害への対応と計画・準備、また不審者等への対応など、危機管理マニュアルの徹底と日頃の訓練を通して職員の意識の向上を図る。 ヒアリハット研修を通して安全点検を徹底し、安全教育に努める。
自己点検・自己評価	定期的な自己点検・自己評価等の振り返りを通して成果と課題を共有し、対話を重ねながら継続的な教育・保育の改善と質の向上につなげる。
指導計画の編成	研修等で知識やスキルの向上を図り、保育の実践をもとに振り返りを行い、子どもの実態に即した指導計画の立案を目指していく。 定期的に見直しを行いながら教育・保育の充実を図る。